

## 2021年度 社会連携研究プロジェクト活動報告書

2022年4月4日

和光大学地域連携研究センター  
センター長 倉方 雅行 殿

代表者氏名 バンバン・ルディアント

研究プロジェクトの名称 ロンボク島における持続可能な防災教育の実施							
研究目的 本プロジェクトでは日本の防災の知識、例えば学校で教えられた「稲村の火」や避難訓練などを教員と学生が研究し、インドネシアの被災地に適応可能な範囲で伝達する。伝達の手法は小学校の中のExtra Curricularの授業中に防災教育を教える。防災教育の内容は紙芝居などを活用し、避難訓練を練習する。対象としたコミュニティはロンボク島の2つ地区の小学校である。現地のプロジェクト実施には和光大学と現地の防災教育専門家と一緒に連携を実施する。							
プロジェクト所属メンバー (氏名の右の欄に、本学専任教員=教、共同研究員=共と記入してください。)							
BAMBANG RUDYANTO (バンバン ルディアント)	教	加藤巖 (かとういわお)	教	鈴木岩行 (すずきいわゆき)	教	高藤洋子 (たかふじようこ)	共

<p>研究活動の経過 (800字以内) (打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。)</p> <p>2020年度と同様にインドネシアのCovid-19の影響で現地へのフィールド調査は実施不可能になり、活動がありませんでした。</p> <p>準備のために、ウダヤナ大学とシークアラ大学とやり取りしましたが、現場の調査ができませんでしたが、代わりに、学生によるオンラインの発表会が実施できました。</p> <p>また、アジア防災センター (神戸)、インドネシア国家防災庁 (BNPB)、国連地域開発センター (UNCRD) との連携を強化しました。</p>
---

研究成果の概要（1200字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新知見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

2022年1月13日に防災分野などのテーマにおいて、英語でインドネシア（ウダヤナ大学とシークアラ大学）・日本（和光大学）の大学生によるオンライン発表会を実施しました。大学の教室を利用したことで費用がかかりませんでした。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2021年4月～2022年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）

特になし。

※ 用紙が足りない場合は別紙を添付してください。

※ できるだけこのデータに入力いただき、Eメールでご提出ください。

※ 提出期限：2022年4月30日（土） 提出先=企画室企画係(岡本) [kikaku@wako.ac.jp](mailto:kikaku@wako.ac.jp)(企画係)